

日野キャンパス SD ギャラリーでは、首都大学東京（TMU）システムデザイン研究科、研究プロジェクト「大都市災害における災害情報共有化プラットフォームの研究開発」（朝香卓也、會田雅樹、高間康史）で提案・作成した成果を展示しています。

大都市において大地震のような激甚災害が発生した場合には、通信基盤の維持と災害情報・避難情報の伝達が極めて重要です。本プロジェクトでは、①超人口過密地域における通信要求・災害情報ビッグデータを同時に処理することを可能とする「災害時においても頑健な情報ネットワーク基盤」の研究、②サイバーコミュニケーションの介在によって生ずるユーザの集団行動を理解し、システムへの影響を評価するための「災害時におけるユーザの集団行動ダイナミクス」の研究、③情報システムの不安定運用環境下において、災害・安否情報等の重要情報を適切に取捨選択し伝達するための「災害時における重要情報協調フィルタリング技術」の研究をそれぞれ実施いたしました。

ご興味のある方はぜひご覧ください。

展示名称：「大都市災害における災害情報共有化プラットフォームの研究開発」

朝香 卓也 教授（電子情報システム工学科）、會田 雅樹 教授（情報科学科）、  
高間 康史 教授（情報科学科）

展示期間：2019年6月24日（月）～2019年7月12日（金）

展示場所：日野キャンパス 2号館 1階 SD ギャラリー

問合せ先：日野キャンパス管理課庶務係企画担当（Tel:042-585-8613）

※どなたでもご自由に見学いただけます。（予約不要、見学料無料）

### 【展示風景】



ポスター展示風景



動画による研究紹介

### 【SD ギャラリー来場方法】



SD ギャラリーは正門からまっすぐ進み



右手に見えるガラス張りのスペースです